

事業性評価の進捗状況

1. 風況調査

風況については、昨年10月から観測を開始し、現在9ヶ月分のデータが収集できている。通常、事業性評価には1年間のデータを用いる必要があるが、今回は中間時の検討として過去のデータから1年分を推定した。なお、風況観測は9月末まで継続して観測し、正規の1年間データで風況精査および解析を実施する。

2. 風力発電設備の検討

当初、5MW風車でメインの検討を進めてきたが、北側海底が岩礁であることがわかり、事業の経済性が厳しくなってきた。そのため、今後の作業では、5MW風車で本数を増やすケースや3MW風車で基礎構造をジャケットからモノパイルに変更したケース等を追加し、事業性が確保できる設備形式の検討を進める。

